

ふるさと歴史散歩 240

～松前史談会レポート～

伊豫神社から今岡御所跡へと史跡めぐりⅡ

伊豫神社から東に移動し手間天神社を訪ねる。元は少彦名命を祭る神社であったが、仁和4(888)年、菅原道真が勅使として伊豫神社に参拝のとき宿泊したことから、後に合祀して手間天神社に改称した。

境内右奥の石碑は道真の没後一千年を記念して建立されたものといわれるが、時を経て苔が付着し碑文が読めなくなっていた。私は、解読しようとか一月ほどかけて束子で洗い流した。

碑の上部に隷書体で書かれた題額「念徳銘勲」は、大洲藩最後の藩主加藤泰秋公の言葉で「道真公の仁徳を深く思い、功績を書き記し石に刻む」ということであろうか。漢文約530文字は、伊予史談会副会長柚山俊夫氏に解読をお願いした。

要約すると、「明治35(1902)年は道真公没後千年になることから、道真公を祭る機運が高まり、碑の建立計画について上京して元藩主加藤泰秋公に相談し、翌年に祭典が行われた。」続けて『道真公の功績』『讃岐守(国司)のとき、朝廷の勅使として伊豫神社に参拝し、手間天神社に宿泊したこと』『901年、左遷により大宰府に向

かう途中、天候不良のため伊予の桜井(現今治市)に宿泊したこと』と、主に三つのことが書かれている『撰文と書』は東京帝国大学(現東京大学)教授重野安緯文学博士によるものである。

今の上野の人々には、120年前に碑の建立に関わった人々の想いを後世に継承してもらいたいと、切に思うところである。次号に続く。(向井幹雄記)

【参考文献】『伊予市誌』2005、『伊予市歴史文化の会第74・77号』、高市綏盛『家のかみ』1953



1 菅原道真公没後一千年記念碑 高さ2.7m、幅1.4mもの大きな花崗岩の綺麗に研磨された上に530文字の漢文が彫られている。碑文の刻字は郡中の石工河野固一郎



2 手間天神社 祭神の少彦名命(少名毘古那命)は、大国主命と共に国造りをした神として古事記に書かれており、一寸法師の物語のモデルともいわれる。菅原道真が祭られていることから地域では「天神さん」と呼ばれ尊崇されている

5月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

公民館では、毎年6月から翌年2月まで高齢者を対象とした講座を開催しています。

本年度も素晴らしい講師陣を招いて、知って得する楽しい講座や研修を計画しています。

毎年、受講している人はもちろん、初めての人も参加してみませんか。

- ▶対象者 町内在住の高齢者
- ▶内容 観劇や一日館外研修(旅行)、生活に役立つ情報など。月1回、全8回。
※ 希望する内容の講座のみの参加も可
- ▶申込方法 お住まいの校区の各公民館へ 電話または来館し、お申し込みください。



㊤プロの奏者による迫力の生演奏

㊦徳島・鳴門方面へ館外研修



Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆5月の休館 30日(金)
◆臨時休館 26日(月) 27日(火)

おはなし会
24日(土)
19時～
文化センター
1階リハーサル室

◆新着本 紹介

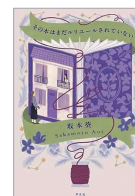
毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶烙印の名はヒト
人間六度・著
早川書房



介護施設で働くロボットのラブは、入居者の老博士に頼まれ彼女を絞殺してしまう。しかし、ラブは人を殺せない設計のはずだった。無実を証明するために逃亡したラブだが…。

▶その本はまだ
ルリユールされ
ていない
坂本葵・著
平凡社



ルリユールとは本・装幀を手作業でおこなう職人を指す言葉。小学校図書館司書のまふみは、製本工房が併設されたアパートで暮らす中で、手製本の美しさに魅せられていく。

▶歌舞伎町ラ
バイ
染井為人・著
双葉社



中学卒業と同時に家を飛び出し、歌舞伎町に辿り着いた少女七瀬。彼女にとって歌舞伎町は、心を安らげる場所だった。しかし、とある事件をきっかけに、歌舞伎町の闇社会を相手に復讐を決意する。



▶大器晩成列伝
真山知幸・著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

後世で偉人と称された人の中には、人生の後半で成功した人も少なくない。彼らがどのように中年期を過ごしたのか、古今東西人生の先輩方に学ぶ、「中年の危機の乗り越え方」。



▶実はおもしろい古典のはなし
谷頭和希
三宅香帆・著
笠間書院

古典オタクの三宅香帆さんと、高校で古文を教えていたことがある谷頭和希さんが、独自の目線で「日本の古典のおもしろいところ」をおしゃべり。古典と聞くと眠くなる人におすすめ。



▶ホテルの光をつなぐもの
福岡伸一・文
福音館書店

私たちが見ているホテルの光は、1億年以上にわたって命をつないできた途方もない時間の流れの中の一瞬の輝き。自然の中にあるつながり、力、動的平衡を通して、子供向けに優しく語りかける作品。